



森林ふれあい情報

平成30年 1月
第 45 号

林野庁中部森林管理局
木曾森林ふれあい推進センター
〒397-0001 長野県木曾郡木曾町福島1250-7
TEL:0264(22)2122 FAX:0264(21)3151
E-mail:kiso-fureai@maff.go.jp

森林ボランティア・NPO連携推進会議

10月13日(金)、14日(土)の2日間、長野県諏訪郡下諏訪町において「森林ボランティア・NPO連携推進会議」を開催しました。

この会議は、中部森林管理局管内で活動する森林ボランティア団体やNPO法人が一堂に会し、互いの交流や、市民参加型のワークショップを実施するイベント「森・ふれあいフェスタ」の開催を通じ、更なる資質の向上と連携強化を図るとともに、広く一般市民の皆さんに、国民参加の森林づくりへの理解や、森林環境教育の重要性をPRすることを目的に開催したもので、今回は、11の団体と局署職員の合計46名が参加しました。

開催1日目は、あいにくの小雨模様の中での開会式となりましたが、開会式終了後、参加団体の国有林への見識を広げてもらうため、参加者全員で霧ヶ峰高原にある南信森林管理署東俣国有林内の八島湿原へ移動しました。

到着したころには雨もやみ、南信森林管理署上諏訪森林事務所首席森林官から、八島湿原の概要や生息する動植物の説明、ニホンジカ防護柵の設置状況等の説明を聞き、秋深い八島湿原の散策を楽しみながら、隣接する「八島ビジターセンターあざみ館」の見学を行いました。その後、



説明に聞き入る参加者

2日目の会場となる、あすなる公園に移動し、それぞれ10のブース毎に分かれ、翌日の打合せを行い1日目を終了しました。

2日目は、諏訪地域の一般市民の皆さんに参加にして頂く「森・ふれあいフェスタ」を開催しました。

開催会場のあすなる公園が前日からの雨でぬかるんでおり、公園横の屋内運動場に会場を移したことから、火を扱う人気の青竹パン作りは残念ながら中止となりましたが、事前に下諏訪町役場がチラシの配布等をしてくれたおかげで、開催時間前に、数組の親子連れが会場に訪れ、



木工細工 うまくできるかな。

木製のパーツを組み立てるミニイス作りや、竹とんぼ作り、木工細工などのブースや、土からできた不思議な絵の具を使ったドブスアートなど、様々な体験を楽しんでいました。

また、下諏訪町の観光PRキャラクターで八島湿原に生息する「シュレーゲルアオガエル」をモデルにした「やしまる」は子供達に大人気で、次々と握手をしたり記念撮影をするなど、さらに盛り上がりました。

雨天で会場が屋内運動場になったことから、昨年より来客数は少なく延べ450名の参加者となりましたが、木や自然素材の数々と触れ合ってもらふ機会をつくることができ「楽しかった」「また参加したい」「来年も企画してほしい」との声が聞かれました。

今年度から、主催がボランティア団体の代表による実行委員会に移り、中部森林管理局は後援となりましたが、協力した局署の職員も、様々なNPO団体等と接する機会となり、また、参加したボランティア団体の皆さんも、2日間を通して充実した連携・交流の場となりました。



「やしまる」くんの登場に興奮気味！

木曽の国有林見学会(秋季)

10月24日(火)木曽森林管理署管内の赤沢自然休養林で、木曽川下流域の住民を対象とした「木曽の国有林見学会2017秋季」を開催しました。

この催しは、江戸時代から深い繋がりを持つ木曽地域と木曽川下流域の愛知県名古屋市の関係や、森林・林業について理解を深めてもらうことを目的に、木曽川下流域の都市住民の方々に、木曽川源流域の国有林を訪ねてもらい、木曽地域の林業の歩み、木材輸送方法(伐採地、小谷狩り、森林鉄道、林業遺産)及び名古屋の熱田白鳥湊(みなと)にたどり着くまでの運材技術の変遷や木材の生産地を実際に見聞きしていただく学習講座で、平成27年度から春季及び秋季の年2回開催しており、口コミ等により名古屋市民から好評をいただいております。



木曽森林管理署職員からの説明

参加者はこの見学会に先立ち、10月17日(火)に、名古屋の木材産業と森林・林業の歴史や、国産材を使う事の意義、上流域の森林(国有林)と下流域の名古屋市の結びつきなどを同歴史館で事前学習しました。

当日は、心配していた台風による影響もほとんどなく、名古屋市内を中心に参加された41名が中部森林管理局名古屋事務所「熱田白鳥の歴史館」を出発し一路木曽路に向い、途中からバスに乗りし

た当センター所長から、赤沢自然休養林までの景勝地等の説明を受け、想いを膨らませながら木曾ヒノキの生地へ向かいました。

赤沢自然休養林に到着後、中部森林管理局次長から歓迎の挨拶があり、昼食をすませ、森林鉄道に乗車し木曾ヒノキの森林と溪流が織りなす景色を眺めながら終点の「丸山渡停車場」で下車し、歴史とともに育まれてきた樹齢三百年余りの木曾ヒノキやサワラが生い茂る林内を散策しながら、当センター及び木曾森林管理署職員のガイドにより、木曾の林業の歴史や運材方法、伊勢神宮との関わり、木曾五木の樹種の見分け方や特徴などを学習しました。

また、散策の傍ら、赤沢自然休養林内で実施している「赤沢自然休養林トレッキングパズルラリー第4弾」にも挑戦して頂き、パズル箱からピースを集めて、最終箇所の森林資料館で応募用紙に記入し、木製パズルを受け取りました。

参加者からは「ヒノキとサワラの見分け方を学習した」「森林鉄道から見える赤沢の風景は美しかった」「森林を散策して爽快な気分になった」「パズルラリーも楽しかった」などの感想が聞かれました。

なお、この催しは、木曾復興支援の取組としても位置づけており、今後も実施にあたり参加者からの意見を企画に反映させ、より意義のある催しとなるよう努めて参ります。



木曾五木の説明を聞く参加者

木曾谷支援の取組「パズルラリーの開催」

木曾路の森林に親しみながら森林の大切さを理解してもらおうと共に、平成26年9月の御嶽山噴火災害の復興支援を目的として、当センターが平成25年度に作成した木曾路ナチュラルトレッキングマップに掲載している木曾路の散策コース12カ所に置いた



パズルラリーに参加中

パズルのピースを6個集めると1枚の絵が完成する「パズルラリー」を、「木曾路トレッキングコース」と、普及版として長野県上松町の赤沢自然休養林内で完結する「赤沢自然休養林トレッキングコース」を、平成28年4月29日から平成29年11月12日まで行いました。

「木曾路トレッキングコース」は、木曾路美術館の協力により、江戸時代の浮世絵師「溪斎英泉」の木曾街道の浮世絵「馬籠（まごめ）」を地元産ひのき間伐材の板にカラー印刷したものを6分割し、各町村に1種類ごとパズルピースを置き、

木曾地域の6町村を巡ると絵が完成します。

また、木曾路全域コース全12カ所を制覇された皆様に、はがき大の地元産ひのき間伐材の板にカラー印刷した木曾街道の浮世絵をプレゼントするもので、県内を始め関東、中京、関西方面等幅広い地域の皆様にチャレンジして頂き、64名の方が全12カ所制覇記念の浮世絵を獲得されました。

「赤沢自然休養林トレッキングコース」は、中部森林管理局が所蔵し林業遺産にも登録された木曾式伐木運材図絵の1場面を6分割したもので同時開催しましたが、好評により開始から2ヶ月で終了し、第2弾を平成28年の9月中旬、第3弾を平成29年4月の自然休養林開園時、そして第4弾を平成29年9月下旬より実施しました。

「赤沢自然休養林トレッキングコース」での参加者のアンケート結果によると、延べ2カ年間にわたる参加者は約1千5百人を数え、居住地は北関東から四国にまで及び、外国人の方も6人参加されました。

なかでも、地元長野県や愛知県等の中部地方で約80%を占めました。年齢別では50歳以上が55%を数え、中高年の参加者が目立ちました。また、誰と来訪したかという設問では43%が仲間と答え、友達同士で楽しみながら参加している状況が浮かびます。

木曾谷の復興は今だ道半ばであり更なる支援活動が必要と考え、平成29年11月より「中山道 木曾十一宿 パズルラリー」を開始しました。これは、木曾谷の観光ルートである木曾街道にちなみ、過去の歴史上の偉人・文豪等により創生された「木曾ブランド」が有する集客効果の波及をパズルラリーに期待し、長野県塩尻市贅川（にえかわ）宿から岐阜県中津川市馬籠（まごめ）宿の間十一の旧宿場に設置したパズルピースを集めるもので、長野県木曾郡木曾町福島と長野県木曾郡上松町上松を境に北部と南部に分け、6分割されたパズルピースを全て集めると浮世絵が2種類完成します。北部と南部共に500セットずつパズルを用意しており、平成30年10月末まで実施します。



パズル完成品（北部）



パズル完成品（南部）

このパズルラリーの取組を、「木曾谷支援の取組について」と題して林野庁で開催した「平成29年度国有林野業務研究発表会」で発表し、林野庁長官賞を受賞しました。

今後も、引き続き木曾谷支援の一助となるべく、パズルラリーに取り組んで参ります。

第3四半期その他の活動及び行事等

月	日	活 動 内 容
10	2	国有林野等所在市町村長有志協議会木曾地区総会 (木曾森林管理署)
	3~4	木曾悠久の森管理委員会 (岐阜県中津川市、木曾郡王滝村)
	8	熱田区民祭 (愛知県名古屋市熱田区)
	8	第54回 信州木曾・上松 赤沢森林浴 (木曾郡上松町「赤沢自然休養林」)
	15	「ふれあいの森」森林整備 (木曾郡上松町「赤沢自然休養林」)
	26~27	平成29年度中部森林管理局・森林総合研究所 技術交流会 (木曾森林管理署・水木沢天然林)
	30	悠久の森写真コンテスト撮影会 (岐阜県中津川市)
31	第6回 ライトセンサスによるニホンジカ生息調査 (木曾郡木曾町)	
11	1	中山道 木曾十一宿 パズルラリー 開始 (塩尻市、木祖村、木曾町、上松町、大桑村、南木曾町、中津川市)
	7	赤沢自然休養林トレッキングパズルラリー 第4弾終了 (木曾郡上松町「赤沢自然休養林」)
	12	木曾路トレッキングパズルラリー 終了 (塩尻市、木曾郡内各町村、中津川市)
	17	コウヤマキ更新調査 (木曾郡木曾町「城山史跡の森」)
	19	城山史跡の森 小鳥の巣箱点検整備作業外 (木曾郡木曾町「城山史跡の森」)
	21~22	森林総合監理士等連携会議 (木曾森林管理署)
	27	第7回 ライトセンサスによるニホンジカ生息調査 (木曾郡木曾町)
12	26	第8回 ライトセンサスによるニホンジカ生息調査 (木曾郡木曾町)



熱田区民祭



小鳥の巣箱点検整備作業外(電気柵撤去)



コウヤマキ更新調査